

友好都市大樹町 子ども交流事業

今年で2回目となる子ども交流事業。
大樹町ならではの体験が詰まった3泊4日のスケジュールに、明治・駒寄両小学校5、6年生28人が参加しました。

8/17日 出発

- ・開校式
- ・海岸散策
- ・方言かるたで北海道の方言を勉強



18日

- ・農場見学 仔牛とのふれあい
- ・バイオマス施設見学
- ・カヌー体験 ・ナイトハイク



1,900頭を飼育する大農場

19日

- ・大樹町宇宙交流センター「SORA」
- ・工場見学「雪印メグミルク大樹工場」
- ・ミニバレー交流会

ソラ

20日

- ・道の駅「コスモール」でお土産選び



19日は「砂金掘り」を予定していましたが、天候の都合で大樹町発祥のスポーツ「ミニバレー体験」に変更。

この日は、大樹町小中学校の2学期始業式の日。放課後、学童施設に来た大樹町の児童と一緒にミニバレーを行い、交流の良い機会となりました。



5月にオープンした「SORA」では、航空宇宙について学べます。実際に打ち上げられたロケットにも触ることができました。



参加した子ども達にインタビュー

問 参加のきっかけは？

答 ・北海道に行ったことがなくて、興味があった
・飛行機に乗ってみたかった
・他の学校の子と友達になりたかった

問 大樹町はどんなところでしたか

答 ・涼しい ・自然が多い
・隣の家同士が離れている ・信号が少ない
・海と川がきれい ・チーズがおいしい

『何が一番楽しかった？』の問いに一番多かった回答は「カヌー体験」

『今回の体験で何か得たものがありますか？』には、「最初、カヌーは怖かったけど、挑戦できて自信がついた」「初めて会った子とも友達になれて良かった」

参加者は、自分なりに旅を振り返ることができたようです。



お世話になった宿泊先の前で、はいチーズ！